

建築
環境心理生理
用語集 [和英・英和]

日本建築学会 編

彰国社

はじめに

本書は、住居・建築・都市などの様々な環境における人間の心理生理を学ぼうとする学生や実務者および他分野の研究者向けに編まれた、おそらく日本で初めての用語集です。当初は、学際的な分野である環境心理生理研究において必要になる多様な環境要素や関連分野の用語を各方面から収集し、英和・和英の対応が分かるように1冊にまとめておけば、国際化する社会において学生・実務者のみならず研究者にとっても有益であろうと考えて企画されたものでした。実はこれは2001年ころの話で、用語の説明を載せることは考えられていませんでしたが、ここから刊行までに10年以上の時間がかかった経緯と、最終的に各用語の説明を含めて、このような形にまとめることになった意図などについて記しておきたいと思います。

まず、環境心理生理分野で扱われる各環境要素分野と、環境心理生理に関連の深い分野である建築計画学や心理学など幅広い分野から集まったメンバーが分担して、各学会などが出している事典類から漏れのないように収録候補となる用語を挙げる作業を行ったところ、10,000語を超える用語が集まりました。これはさすがに多すぎるということで、どの用語を収録するかという検討のために各学会の定義などをしらみつぶしにチェックして議論を繰り返し、重要なものに絞り込む作業が行われました。この過程で、重要な用語の中にも用語を単独で見ただけでは何に使われるものかわからないものがあったり、意味によって英語が異なったりということが出てきました。そこで、各用語に簡単な解説をつけて掲載したほうがよいということになり、今度は用語を提案した委員が提案元となった事典類から短い解説を抽出したものを集める作業が行われました。この作業にもかなりの時間を要しましたが、いざ各分野から解説を集めてみると、それらの解説を束ねただけでは1冊の用語集としてはほとんど使い物にならないことが判明し、ここからさらに紆余曲折、苦難の作業が始まります。

学術用語は、各研究分野の確立とともに、それぞれの研究分野で独自に定義され、修正されながら研究が進展していきます。そのため、環境心理生理のように学際的な分野においては、用語を用いる人の出身分野などによって、同じ概念に対して複数の用語が用いられ、同じ用語が複数の概念に対して用いられることもよく見られます。また、学会等での議論により、ある分野で用語の使い方が変更されることもあります。過去に刊行された書籍や論文などは修正することができません。

各分野の事典類から集められた解説は、他の分野のことは一切考慮されていませんし、特定分野内での用法であることが前提になっているため、どの分野の話なのかを補足しないと意味不明になるものが多数ありました。また、以前にはよく使われていた用語が、規格化や国際化、また学会での議論を通じて使われなくなったもの・使わないほうがよいとされるケースがあります。新たにこの分野について学ぼうとする人

環境工学委員会（2012年度）

委員長 佐土原 聡（横浜国立大学）
幹事 大井 尚行（九州大学）
田中 貴宏（広島大学）
田辺 新一（早稲田大学）
委員（略）

企画刊行運営委員会（2012年度）

主査 久野 覚（名古屋大学）
幹事 飯塚 悟（名古屋大学）
稲留 康一（奥村組）
委員（略）

環境心理生理運営委員会（2012年度）

主査 松原 斎樹（京都府立大学）
幹事 辻村 壮平（東京大学）
榎 究（実践女子大学）
委員（略）

環境心理生理用語集小委員会（2007年度）

主査 山田由紀子*
幹事 辻村 壮平（東京大学） 小久保隆之（株式会社エスト）
委員 有川 智（東北工業大学） 伊藤 俊介（東京電機大学）
岩田 利枝（東海大学） 大井 尚行*（九州大学）
河口 豊 木村 通治
小島 隆矢（早稲田大学） 園田真理子（明治大学）
橋本 修佐（武蔵野大学） 堀 祐治（富山大学）
村松 陸雄（武蔵野大学） 安永 幸子（明治学院大学）

協力 上野佳奈子（明治大学） 大野 隆造（東京工業大学）
古賀 誉章（東京大学） 長野 和雄（奈良女子大学）
宗方 淳（千葉大学）

（所属は2013年2月現在、*は説明執筆担当）

が過去の文献を読むためには、使われなくなった用語も収録する必要がありますが、解説なしに収録してしまうと、新たにその用語を論文に用いてしまう危険性があることとなります。また当然のことながら、関連する用語の解説は整合している必要があるため、相互参照の可能性も考えて、複数の事典類を参照し、インターネットで実際の論文での使用例も検索しながら、新たに説明を書き起こしました。また比較的新しい研究分野であることも考慮し、最近の研究の中で使われている主要用語については、環境心理生理運営委員会関連で出版されてきた書籍の索引を元に、大幅に追加を行いました。

このような作業を経て、環境要素や分野を限定せずに用語を利用する場合に参考になると思われる情報を大幅に付加することができましたし、少なくとも現時点での日本建築学会・環境心理生理分野でその用語がどのように使われているか、また過去の日本建築学会論文集等でどのように使われてきたかについてもある程度は記述することができたものと思います。最後には、現在環境心理生理分野でご活躍の先生方の協力を仰ぎ、全体を通して特段の不備がないかどうかをチェックしていただきました。またこの場をお借りして、小委員会が立ち上がる前のワーキンググループ等で関わられた先生方にも感謝の意を表したいと思います。

本書は用語集ではありますが、読み物として読んでいただいても、意外な発見があるかもしれません。利用者のみならずによって、用語集をさらに育てていただき、環境心理生理分野の研究がさらに進展していくことを期待しております。

2013年1月

環境心理生理用語集小委員会

凡例

1. 見出し語の並べ方について

見出し語は50音順に並んでいる。長音は直前の母音を重ねたものとみなした。アルファベットによる短縮形なども一般的な読みを50音と見なして並べている。またカタカナ表記の外来語、アルファベットの見出しについては一般的によく用いられる読みを採用しているため、見当たらない場合は別の読み方でないかを確認のこと。特に読みにくいと思われるものは見出し語の後に（ ）付で読みを表示してある。

例1：ヴィとビ、フォとホなど。ISOは「イソ」、「アイソ」ではなくアイエスオーなど。

例2：英語のdiopterに対して「ジオプトリー」「ディオプター」は見出しにあるが「ジオプター」「ディオプトリー」は採用していない。

2. 同じ見出し語で複数の意味がある場合、英語が異なるものは「見出し(1)」「見出し(2)」のように独立した見出しとした。英語は共通で意味のみ複数ある場合は、説明文のみ1)2)のようにした。

3. 同義語がある場合は多用されると思われるもの(同程度の場合にはどちらか一方)に解説を示し、同義語を☐で示した。見出し語よりも多用される同義語がある場合は☑で示し、解説は多用されるものだけに示した。ただし、現在は使用が推奨されていない用語や旧称などの場合は、同義語の☐は示していない。

4. 説明中に含まれていない関連語がある場合は☒で示した。説明中の語は見出し語であっても、ごく一部を除き特に表示していないので、適宜参照されたい。

5. 説明はすべて執筆担当者が調査を行い、建築環境心理生理分野における現在の用例を示すものとした。各分野の専門事典にある解説文はできるだけ参照しているが、環境心理生理分野という視点からの意味を重視した説明とした。したがって、すべての語意を網羅しているものではない。ごく一般的と思われる意味についても省略しているので、必要に応じて国語辞典や他の事典類を参照していただきたい。

6. 英語において文脈により省略されることのある部分は（ ）で示した。

7. 英語と米語が異なる場合には(英)(米)のように示すようにした。表示のないものは共通に用いられるものである。

例：stair case (英)、stairway (米)、stairs

ただし慣用的に類似の場合には米語のみを示すこととした。

例：center [centre (英)は省略]

8. 英語において通常は単数形だが、複数形が特殊なものは(pl)として示した。

9. アルファベットの頭文字を用いた略語については、略語の元になった言語の表記も示すようにした。

10. 分野によっては外来語の最後の長母音を省略することが慣例の場合もあるが、現時点での一般表記に近いと思われるものを採用した。

アージ**urge**

アージ理論において、生き延びるために必要と考えられる各種の感情のこと。

アージ理論**urge theory**

戸田正直が提唱した、人間の意思決定において、一見非合理に見える時間・空間的に局所的な感情的な判断は、狩猟採集時代の環境で生き延びるように適応しているためであるとする理論。  アージ  待機型態度  評価型態度

アースカラー**earth color**

1980年代から自然志向が盛んとなって、多用されるようになった、地物の色に似せた薄いベージュから茶色など低彩度の色。

アーティファクト**artifact**

目的とした要因による結果以外に、それと知らずして人為的に作り出された結果のこと。

アーバニゼーション**urbanization**

特定の地域への人口集中、主産業が二次・三次産業を条件とする都市化のこと。またそのような生活形態をいう。  都市化

RMR

relative metabolic ratio の略。  エネルギー代謝率

RC 曲線**room criterion curve**

オフィスの空調騒音評価のための ASH-RAE による曲線群。  NC 曲線  NCB 曲線

R テクニック**R-technique**

心理学における因子分析の技法の呼称の一つで、変数間の相関行列に対してなされる一般的な因子分析法。R 技法ともいう。  P テクニック

IESNA

Illuminating Engineering Society of North America の略。北米照明学会。

IAQ

Indoor Air Quality の略。  室内空気質

IAPS

International Association for People-Environment Studies の略。ヨーロッパを中心とする環境心理系の学会組織。

ISO

International Organization for Standardization の略称。国際的な規格を定めている組織。  国際標準化機構

ISO 規格**ISO standards**

ISO（国際標準化機構）が定めた国際規格。

アイカメラ**eye camera**

眼球の動きを捉えることで視線の動きをトレースし、注視点やその時間を分析す

るためのカメラ。歩行者の視線などが分析される。

アイコンニック記憶

iconic memory

視覚情報処理の初期過程で情報が視覚的に保持される機構。視覚情報保存。

アイコン

icon

視覚情報のまま図像的に記憶されているような像。📌 アイコンニック記憶

ICU

intensive care unit の略。病院の中の看護単位の一つで、呼吸・循環管理をしなければ生命に危険がある患者を治療・看護する。📌 集中治療室

ICU 症候群

ICU syndrome

ICU で治療後、生命危機を脱した後も観察と管理のために ICU に入室を続けるときに見られる精神的不安定症状。

アイストップ

eyestop

空間にある絵画・彫刻・建築物などの造形要素が視線を集中させたり停滞させること。またその要素。

愛着

attachment

人間の特性の一つで、ある対象に対して情緒的つながりを強く保とうとする結びつき。📌 トポフィリア

アイデンティティ

identity

主体性をもつ自己の確認と社会的自立・

役割などを指し、人格発達理論で用いられる。

ipRGC

intrinsically photosensitive retinal ganglion cells の略。内因性光感受性網膜神経節細胞。メラトニン分泌抑制に関与する神経節細胞。

アイマスク

eye mask

明室で睡眠を取ったり、光線療法の際に目を保護するために使われるマスクで、めがね型や貼付型がある。

アウベルト現象

Aubert phenomenon

⇒ アウベルト効果

アウベルト効果

Aubert effect

身体を、前後を軸として大きく傾斜させると、鉛直軸が身体の傾きと反対方向に傾いて見えること。📌 アウベルト現象
📌 ミュラー効果

喘ぎ呼吸

gasping

正常呼吸に比べて吸息時間が短く呼息時間が長い、けいれん性の呼吸をいい、ガス交換が悪くなる。

赤池の情報量基準

Akaike's information criterion

⇒ AIC

明るい (1)

bright

光量について高いレベルの明るさを表現する形容詞。📌 明るさ (1) 📌 暗い

(1) (2)

明るい (2)

light

物体の明度が高いことを表現する形容詞。📌 明るさ (2) 📌 暗い (1)

明るさ (1)

brightness

視覚系が光量が多い傾向にあると知覚する明暗に関する心理的な量。また音の音色から知覚される同様の心理量。

明るさ (2)

lightness

視覚系が物体の明度が高いと知覚する明暗に関する心理的な量。

明るさ感

brightness

視野内の見えから構築される明るさの感覚。部位に対するものから空間全体に対するものまでである。

空き

clearance, opening

1) 隣り合う構成材間の距離、隙間。
2) 同種の部材を繰り返し配置するときの部材間の間隔の内法寸法。

空き地

vacancy, vacant land

建築物や施設などに利用されていない土地。

悪臭

offensive odor

生活環境を損なう恐れのある不快な臭気の総称。

アクションリサーチ

action research

厳密に統制された実験と現実のフィールドで行われる実地研究とを連結する、社会工学的な研究方法。

アクセシビリティ

accessibility

特定の地域や建物等への距離や時間距離、交通手段などによる近づきやすさをいう。

アクセス

access

他の地域から特定の地域や建物等に近く交通手段や情報手段をいい、特に福祉ではアクセスの確保が重要となる。

アクセント

accent

1) 強調、変化の意味で、そのスペースを引き締め、美しさを生み出すポイント。 2) 音声の音節の高さや強さが強められる現象。

アクセントカラー

accent color

全体に占める面積は小さいが、周囲に比べ特に強調されて見える色のこと。強調色。

アクセント照明

accent lighting

空間の一部を際立たせるための照明。

アクティブ音場制御

active sound field control

発生音に電気音響技術により加工した音を付加して音場を制御すること。

アクティブ制御**active control**

外から加えたエネルギーにより、振動や音について波動現象を利用して制御すること。  能動制御

アクティブ騒音制御**active noise control**

アクティブ制御の手法により二次音源を付加して騒音を低減すること。  能動騒音制御

握力**grip strength**

手のひらと手指で物を握るときの筋力。体力測定の評価項目の一つ。

ASA

Acoustic Society of America の略。米国歌響学会。

ASHRAE (あしゅれい)

American Society of Heating Refrigerating and Air-conditioning Engineers の略。米国暖房・冷凍空調学会。

アシンメトリー**asymmetry**

非対称、不均整。安定や権威を感じさせるシンメトリーの逆で、動的で親近感を感じさせる。

アスベスト**asbestos**

繊維性鉱物で耐熱、断熱、耐薬品、耐摩擦などに優れた建材に多用されていた。近年、肺がんなど人体への悪影響が問題となり、製造が禁止された。  石綿

アスペルガー症候群**Asperger's syndrome**

H. Asperger が発表した小児の発達障害の一つ。自閉症に類似するが、言語的IQは高く、運動能力に障害を示す場合が多い。他人との共感に乏しく、孤立する傾向がある。

四阿、東屋 (あずまや)**kiosk, arbor, pavilion**

方形の屋根を四隅の柱で支えた壁のない建物で、庭などに設けられ散歩の途中の休憩などで使われる。

アスマン温湿度計**Assmann psychrometer**

棒状の乾湿球温度計の、球部に強制通風装置で送風して温湿度を測定する温度計。通風温湿度計、通風乾湿計とも呼ぶ。

アセスメント**assessment**

物事の評価をすること。福祉や看護分野では、対象者について把握し、問題点を捉えること。環境分野では、空気、騒音などの測定値から環境の良否を判断すること。  評価 (3)

遊び**play**

自分の意思でそれ自体を楽しんでいる活動。子供の生活の大部分が遊びで、そこから種々の能力を身につける。

当たり前品質**must-be quality**

充足されないと不満だが、充足されると意識されなくなるような品質項目。

圧覚**pressure sensation**

機械的刺激が皮膚に与えられることによって生じる押された感覚。触覚とほぼ同義語。

圧痛**tenderness**

接触、圧迫などにより、皮膚や筋肉のみならず、内臓にも感じる痛み。

圧迫感**(feeling of) oppression**

周囲の事物から感じられる圧迫されるような感じのこと。開放感とは完全に反対の概念ではないことに注意。

アトニー**atony**

通常は筋肉の正常な緊張度または強さが欠如した状態。血管や消化器にも起こる。

アトピー性疾患**atopic disease**

アレルギー症状を引き起こしやすい遺伝的素因の一つで、喘息や鼻炎、皮膚炎などの疾患を指す。

アナフィラキシー**anaphylaxis**

特定物質と IgE 抗体により引き起こされる即時型アレルギー反応で、重篤な場合をいう。

アナログ**analog**

データ量を連続的な値として表現すること。  デジタル

アノイアンス**annoyance**

ラウドネス、ノイジネスとともに用いられる騒音の心理的評価の属性の一つで、身体的、人間関係を含めた不快感。  喧噪感

ANOVA

analysis of variance の略。  分散分析

アフォーダンス**affordance**

知覚心理学者 J. J. Gibson による造語。環境世界のほうに意味や価値が実在し、動物が環境を探索することによってこれを獲得するという考え方。デザイン分野では D. A. Norman の用いた人間が知覚できる行為の可能性という意味で使われることが多い。

アプローチ空間**approach space**

主目的となる空間に接近 (アプローチ) するための経路にあたる空間。社寺の参道空間や敷地に入ってから建物入り口までの空間などの総称。

アポストルブ**apostilb**

輝度の単位。略記 asb。1 [asb] = 1/π [cd/m²]。

甘え**amae, indulgent dependency**

精神科医土居健郎が日本人の精神構造を理解する重要な概念として紹介したもので、人の親切や好意を遠慮なく受け入れること。

アメニティ

amenity

環境の快適性や建築、都市、住居などのなじみやすさ、居心地の良さをいう。

誤った関連付け

illusory correlation

2変数の相関関係が実際にはほとんどないにもかかわらず、記憶されやすい事象などに対して実際以上に大きく相関性を判断すること。

粗さ (音の)

roughness

⇒ ラフネス

粗さ感

roughness

物体表面の凹凸刺激から生じる皮膚感覚。

アリーナ形式

arena type

ホールにおいてステージが客席で囲まれた配置のこと。📍 エンドステージ形式

アルゴメーター

algometer

⇒ 痛覚計

アルツハイマー型認知症

dementia of the Alzheimer type

アルツハイマー病により引き起こされる進行性の認知症状態。若年性と老人性がある。

アルツハイマー病

Alzheimer disease

ドイツの精神学者 A. Alzheimer により発見された脳の病理的所見に起因する病

で、進行性の認知症などを引き起こす。

📍 アルツハイマー型認知症

アルファ運動

alpha movement

仮現運動の一種で、幾何学的錯視図形のミュラー・リヤー図形などを用いて観察される。📍 ミュラー・リヤー錯視

α波 (あるふあは)

α-wave, alpha-wave

アルファ波。脳波の一つで閉眼時に後頭葉に 10 Hz 前後で見られ、開眼時には抑制されるもの。

アルベド知覚

albedo perception

視覚系を通じて得られるその物体の知覚上の明るさが、照明条件の変化にもかかわらず、一定に保たれる現象をいう。

アンケート

questionnaire

フランス語の enquête に由来。質問紙で質問を提示し、回答者が回答欄に記入を行うことで回答を得る調査の方法。

ANSI (あんし)

American National Standard Institute の略。米国規格協会。

暗示

suggestion

他人から与えられた言葉などの刺激が理性に訴えずに受け入れられ、与えられた言葉通りの行動が引き起こされる現象。

暗順応

dark adaptation

視覚が明るい環境から暗い環境に順応し

ていく過程。明順応より時間がかかり完全な順応には 30 分程度を要する。📍 順応 1)

暗所視

scotopic vision

暗所 (約 0.01 cd/m² 以下) に視覚系が順応し、主に桿体が働いている状態。📍 薄明視 (はくめいし) 📍 明所視

暗振動

background vibration

対象とする振動がないときの、その場における振動。

安静

rest

身体を平静に保ち、エネルギー代謝を最小にすること。

安静時代謝率

resting metabolic rate

椅座位での安静時の代謝率で基礎代謝率より約 20% 高い。

安全性

safety

人間が環境に望む基本的要件に関連する建築環境性能の WHO による 4 分類の一つ。生命に危険が及ばないための性能で、地震で壊れない、確実に避難できるなど。📍 保健性 📍 利便性 (2) 📍 快適性 (2)

暗騒音

background noise

ある箇所において、測定や聴取の対象外の騒音。

案内図

location map, vicinity plan

建物や敷地の位置やその周辺における状況などを示す見取り図。

アンビエント照明

ambient lighting

周囲の環境が分かるための照明でタスク照明と対になる語。📍 タスク照明

アンビギュイティー

ambiguity

空間が人に与える情報のあいまいさでイメージの形成に影響するもの。📍 多義性

アンビバレンス

ambivalence

同じ対象に対して、相反する感情や態度を同時にもつ現象。

アンペア

ampere

電流の基本単位。略記 A。

EEG

electroencephalogram の略。⇒ 脳波

ESP

extrasensory perception の略。感覚器を経ない特殊な遠隔知覚で、テレパシー、透視、未来の予知などを指す。超心理学や念力の領域。

EN

European Norm の略。CEN (欧州標準化機構) が定めている欧州規格 (European Standards)。

ギリシャ・数字

α -wave	8
1/f fluctuation	23
1/f noise	23
2-way layout	176
2-way layout ANOVA	176
100 hue test	199

A

A-D conversion	19
A-frequency weighting	20
A-weighted floor impact sound pressure level	20
A-weighted sound pressure level	20, 144
abnormal psychology	11
abnormal visual field	108
absolute hearing	140
absolute humidity	140
absolute pitch	140
absolute temperature	140
absolute threshold	139
absorption	56
absorption coefficient for radiation	209, 221
accent	5
accent color	5
accent lighting	5
acceptability ratio	238
acceptable standards	60
acceptance of disability	119
acceptance of handicap	119
access	5
accessibility	5
achromatic color	229
Acoustic Society of America	6
acoustic center	159
acoustic intensity	30
acoustic nerve	160
acoustic phonetics	31
acoustic scale model experiment	31
acoustic spectrum	31
acoustics	30, 31
acquisition	115
action	170
action research	5
action spectrum	89
active control	6, 184
active noise control	6, 184
active sound field control	5
active sweat gland	184
activities of daily living	19, 177
activity	42, 170

activity level	89
activity space	88
actual condition	105
actual dimension	104
actual measurement value	104
actual size	104
adaptation	118, 165
adaptation level	118
adaptation luminance	118
additive mixture of colors	43
adjacent effect	246
adjusted R-square	115
adolescence	137
adulthood	136
advancing color	126
advertisement	75
advertising	75
aerial environment	63
aesthesiometer	124
affect	48, 121
affordance	7
after-sensation	90
afterhearing	91
afterimage	91
aged society	79
aged society with a fewer number of children	121
ageing	19
ageism	19
aging	19, 248
aging society	79
aging society with fewer children	120
agnosia	106
agraphia	104
air	63
air change rate	45
air cleaning	63
air conduction	53
air current	61
air curtain	19
air diffuser	208
air diffusion coefficient	63
air distribution	61
air distribution performance index	61
air exhaustion	187
air flow	61
air outlet	208
air pollution	63, 149
air pollution control law	149
air quality	63
air quality index	63
air requirement for ventilation	198
air right	64
air supply	56

air supply volume	208
air supplying opening	56
air temperature	50
air ventilation	45
air volume	52
airborne bacteria	210
airborne microbe	210
airborne-microorganism measurement	210
airborne particle	211
airborne particulate matter	211
airborne sound	63, 64
Akaike's information criterion	4, 19
albedo perception	8
alert attitude	149
algesimeter	162
algometer	8, 162
all-or-none law	106
alley	171
allowable concentration	61
alpha movement	8
alpha-wave	8
alternative current	19, 79
alternative hypothesis	152
Alzheimer disease	8
amae	7
ambient lighting	9
ambiguity	9, 153
ambivalence	9
amenity	8
American National Standard Institute	8
American Society of Heating Refrigerating and Air-conditioning Engineers	6
amount of heat	184
amount of information	122
amount of precipitation	76
amount of ventilation	47
ampere	9
amplitude	128
amplitude modulation	19, 128
amplitude of fluctuation of the luminous flux	162
amusement quarter	88
analog	7
analysis of covariance	59
analysis of variance	7, 215
anaphylaxis	7
anchoring effect	68
anechoic room	229
anemometer	206, 244
anemoscope	206
anger	11
angle of depression	208
angle of elevation	57
angle of incidence	101

angle of view	38
annoyance	7, 72
anomaly of visual perception	94
anonymity	172
anthropometric dimension	127
anti-centering tendency	193
anxiety	205
aperture color	34
apostilb	7
apparent movement	40
apparent solar time	127
apparent specific gravity	227
appearing and disappearing	227
appraisal	199
approach space	7
AR model	100
arbor	6
architectural lighting	72
archival research	61
area effect	231
area effect of color	14
area of audibility	42
area of invisibility	208
area of visibility	41
arena type	8
ARIMA model	100
arithmetic mean	91, 144, 150
aroma	38
arousal	39
articulation	230
articulation test	230
artifact	3
artificial climate	126
artificial ear	126
artificial intelligence	19, 126
artificial lighting	126
artificial pupil	126
asbestos	6, 139
ascending series	121
Asperger's syndrome	6
assertive behavior	117
assessment	6, 199
assimilation	169
Assmann psychrometer	6
association area	248
assumed size	116
asymmetry	6
atmosphere radiometer	149
atmospheric diffusion	149
atmospheric phenomena	52
atmospheric pressure	49, 149
atmospheric radiation	149
atmospheric transmissivity	149
atmospheric transmittance	149